



ハイキングに行ってきました



菩提山長谷寺

4月に入り暖かい日も増え、過ごしやすい季節になってきました。また、周りを見渡せば草木も綺麗に色付き、外に出ると五感で季節の変化を感じることができ、少し前までは寒いから外に行くのは嫌だなど思っていたのですが、最近では外に出るのが楽しみになってきました。

しかし、毎年楽しみにしていたお花見も新型コロナウイルスの影響で行うことができず、外出するのにもコロナを気にしながらの外出になるため、何かと寂しい春となってしまいました。

そのような中、少しでも春を感じようとハイキングを計画し、子どもたちと笛吹市の旧春日居町にある長谷寺(ちょうこくじ)に行ってきました。残念ながら当日の天気は曇りとなってしまいましたが、桃の花は満開でとても綺麗に咲いており、曇り空と甲府盆地の景色も綺麗で、曇り空だからこそ見られる景色を堪能しながらのハイキングとなりました。子どもの中には「人生の中で一番歩いた」と話してくれた子もいて、お互いに思い出に残るハイキングになりました。

長谷寺(ちょうこくじ)?

長谷寺は養老6年(722年)に創設されたと言われている真言宗の古寺です。婦女子の信仰を集め「女人高野」とも呼ばれています。500段ほどある石段を登り切ると本堂があり、本堂は江戸時代の建築で、建築材料の一部には中世の本堂の廃材を一部で利用しているという説もあります。本堂の前には甲府盆地を見下ろすことのできるデッキが設置されており、非常に綺麗な景色を見ることができました。



約500段の石段を登った先に本堂があります。



曇り空の下に広がる甲府盆地

鳥居焼きと笈(おい)型焼き

毎年4月になると山梨岡神社の背後にある御室山では一片の長さ400メートルにもなる笈形(修行僧が背負う箱)の綺麗な光を見ることが出来ます。

平安時代の末期に、1000人のお坊さんがいるお寺の長谷寺と勝沼の柏尾の大善寺が知恵比べをしていました。その際に長谷寺に協力した山梨岡神社の鳥居を大善寺側が持ち帰って焼き払ってしまったそうです。一方の長谷寺側も柏尾の笈を持ち帰り焼き払ったと言われています。

以来、山梨岡神社の背後にある御室山では笈型焼きを行い、大善寺では鳥居焼きをそれぞれ行うようになったそうです。



山梨県少年サポートネット推進協議会
愛称:スマイルサポートプロジェクト(スマサポ)
《事務局》
山梨県教育委員会 生涯学習課
青少年保護育成担当
TEL 055-223-1357

